

# 令和5年度 こども園（保育園）関係者評価

## 施設評価シート

子育てセンターみなみしま

### こども園（保育園）関係者評価委員会による評価

対象評価： 最終評価

評価日時： 令和 6年 2月 21日 9:30～ 11:00（一時保育室）

### 【こども園（保育園）関係者評価委員会構成】

学識委員 1名 地域委員 1名 保護者委員 2名

### 【園の教育・保育目標】

夢中になれる子 ～みんな大好き あそぶの大好き～

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した  
こども園（保育園）評価の具体的な目標や計画】

「いいとこ みつけた」

子ども自身が安心して遊べる場所であり、園に大事なお子さんを預ける保護者にとっても安心して安全な場所であるために、様々な取り組みを通して園全体でコミュニケーション能力を育てていきます。子どもたちが安心してできる環境の中で自分を知り、相手を知り、お互いを認め合うことのできるための教育保育の提供に取り組んでいきます。

### 【評価基準について】

- 4・・・十分に達成されていた
- 3・・・ほぼ達成されていた
- 2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない
- 1・・・取り組みが不十分であった

項目	園評価	評価理由	最終評価	評価委員から
<b>I. 目標の理解</b> 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる	3	理念、方針、重点目標等、共通理解をし実践をしています。今年度重点目標の取り組みについて各クラスのおたよりで発信したり、園内研修や会議等で職員間で共有しました。園の教育保育目標を常に見えるところに掲示し、より意識を持って取り組むことができるよう、改善しました。	3	目標を見える化することは大切なことである。形骸化しないよう工夫が必要である。職員の一生懸命さは保護者にも伝わっているため、もっと保護者にPRをしていくことで、保護者とさらに連携した教育保育に繋がっていくと感じた。
<b>II. 教育・保育の計画性と内容</b> 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省	3	全職員で環境についての動画を見て共有し、保育室の環境を見直す時間を作りました。またカンファレンスの中で繰り返し見直し、環境を変えたり整えるよう意識して取り組んでいます。主体性、連続性のある活動を実践するためにはクラス間での話し合いや園全体での共有が大切です。踏み込んだ教育保育活動の展開ができるよう、効率的な話し合いの時間を位置付けることに課題があります。	4	職員間の情報共有の機会の確保はとても重要である。今後も共有する時間を大切にしたい。子どもの安全性を最優先にした環境づくりに努めてくれていたことがよくわかる。（駐車場、テラスの修繕等）保護者の送迎のしやすさまで配慮してくれている。（駐車場の止め方も工夫している等）
<b>III. 子どもにとっては</b> 1. そのらしさが認められる 2. ゆったりとした生活 3. 自然に触れて心行くまで遊ぶ 4. いろいろな人の中で自分を知る	3	個性を大切に、一人一人に寄り添った教育保育を心掛けています。少人数で落ち着いて過ごせるよう分散したり、クラスの枠を超えて園全体で見えていく意識ができてきました。異年齢保育の良さとして大きい子と小さい子の関りが自然に見られ、思いやりの気持ちが育まれています。一人ひとりが満足する遊びができるよう、提供の仕方や活動の計画を立てていきたいと思えます。	4	エピソード記録について職員が取り組んだことで、様々な子どもの表れを様々な視点から理解することができる。組織として子どもを育てようという姿勢が感じられる。保護者に伝えられる内容は発信し、情報共有することが保護者の安心感に繋がっていると感じている。

<p><b>IV. ファミリーにとっては</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 気軽に相談できる</li> <li>2. いつでも保育に参加できる</li> <li>3. 必要な情報が得られる</li> <li>4. 保育を通して地域に親しむ</li> </ol>	4	<p>明るく笑顔で丁寧な対応を全職員が心掛けています。活動の様子をその日のうちに写真掲示し、保護者の方に伝わるよう方法を変更しました。また送迎の際に、保護者の話に耳を傾けたり、情報を共有するよう努めています。社会情勢により、教育保育に対する保護者の視点も厳しくなっています。職員会議や朝の打合せ等でも、再度認識できるように共有しています。情報発信の仕方がデジタル化となり、保護者が情報を保護者自身で見られるようになってきているため、情報発信の仕方も工夫をするよう努めています。</p>	4	<p>日中の子ども達の様子の写真掲示が毎日変わっているため、様子がよくわかりありがたい。子どもの安全性を最優先し、先生たちの負担にならない範囲での工夫を今後もお願いしたい。</p>
<p><b>V. 地域にとっては</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 誰でも親しく訪ねられる</li> <li>2. 園の内容がよくわかる</li> <li>3. 緊急の時頼りになる</li> <li>4. 子育てに夢がもてるように</li> </ol>	4	<p>新型コロナウイルスが5類に移行したことにより、様々な人との関りが以前のように戻りつつあるため、支援センター利用者や実習生、ボランティアの方など関わることができました。また今年度は併設している支援センターに全職員が入り、利用者や関わる機会を持ちました。地域の方が安心して利用できるよう、気持ちの良い挨拶や丁寧な声掛けを心掛けて努めました。また支援センターに来所する保健師、言語聴覚士等、専門職とのつながりも大切にしています。</p>	4	<p>子どもの教育保育等に関する様々な人との交流は大切である。今後も継続してほしい。職員は教育保育のプロ、健康のプロ、言語のプロとして教育保育の向上に努めてほしい。地域の方々も協力して下さることが園にとっても、地域にとってもプラスになる。地域の方も「来たくてしょうがない」という方もいらっしゃるため、今後の連携も大切にほしい。</p>
<p><b>VI. スタッフにとっては</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個性が生かされる</li> <li>2. 快適な職場づくり</li> <li>3. 生活や遊びの文化が伝えられる</li> <li>4. 視野を広げて自ら学ぶ</li> </ol>	4	<p>それぞれの個性や得意分野が生かされるよう、教育保育活動での職員配置を工夫しています。また興味のある研修を受けられるよう、情報を発信し、学びの場を作っています。業務改善、業務の効率化にも取り組み、一定の成果を感じています。ノンコンタクトタイムや休憩時間の確保等、少しずつ意識して取り組むことができるようになっていますが、今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。</p>	4	<p>職員の心身の健康が子どもたちへの安定した教育保育に繋がる。今後も業務改善や研修を可能な範囲で進めながら、職員が笑顔で教育保育できる場であってほしい。</p>